



感染委員会だより

特別養護老人ホームオーキッド感染対策委員会

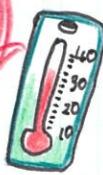
梅雨があけてから毎日異常な暑さが続いています。兵庫県でも熱中症での救急搬送が130人を越え、重症者、死亡例も出ています。

本来であれば感染症のお話をたっぷりしたいところではあります。今日は熱中症テーマにします!!

※熱中症は、気温だけでなく、人の体調や暑さに対する慣れ、湿度などが影響します。

◆こんな日は熱中症に要注意!!

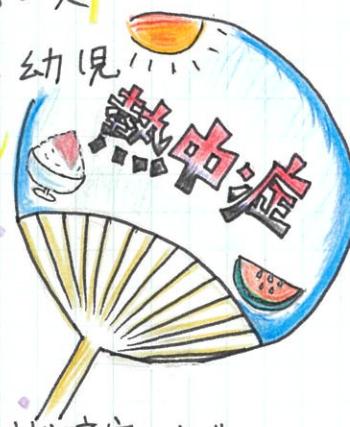
- ・気温が高い、湿度が高い
- ・風が弱い、急に暑くなつた



熱中症の予防法

◆こんな人は特に注意!!

- ・肥満の人、体調の悪い人
- ・持病のある人、高齢者、幼児…
- ・暑さに慣れていけない人



- ・日傘・ぼうしを使用、すずしい服装を。
- ・水分をこまめにとりましょう
- ・日陰を利用してこまめに休憩。
- ・暑い時は無理をしない。

症状 めまい・失神・筋肉痛・大量の汗・頭痛・吐き・倦怠感・意識障害など

※急に暑くなつた日や活動の初日は特に注意しよう

人の身体は暑い環境での作業をはじめてから3~4日経たないと、体温調節がうまくいきません。そのため、急に暑くなつた日や久しぶりに暑い環境で作業して時には、体温調節がうまくいかず、熱中症で倒れる人が多くなるのです。汗をかいだ時には塩分の補給も忘れずに!

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら…落ちついて対処を。

①熱中症を疑う症状がある

(はい) ↓

②呼びかけに反応ある

(はい) ↓

*涼しい所へ移動し身体をひやす

③水分を自分で摂取できる

(はい) ↓

*水分、塩分を補給する

④症状が良くなつた

(はい) ↓

そのまま安静にしてしっかり休息を。



救急車をよぶ

呼びかけに反応なければ

無理に水分与えない

涼しい所へ移動し服をゆるめ
身体をひやす

首、わき下、太もものつけ根
など"を冷やしましょう

医療機関へ

熱中症を予防し
楽しい夏をすごしましょう